

仕 様 書

調達物品の名称 及び数量	過酸化水素ガス発生装置一式
納期	2024 年 8 月 30 日
納入場所	〒734-8553 広島県広島市南区霞 1-2-3 広島大学原爆放射線医科学研究所 放射線先端医学実験棟動物実験施設
項 目	要 求 仕 様
1. 過酸化水素ガス発生装置	<p>過酸化水素ガス発生装置は、以下の要件をみたすこと</p> <p>1.1 装置の外寸は最大でそれぞれ W240×D240×H290(mm) であること(ただし D は配管接続部を除く)。</p> <p>1.2 装置重量は 10 Kg 以下とすること。</p> <p>1.3 電源は単相 100V 1φ 2W 300VA(MAX)であること。</p> <p>1.4 装置筐体の外装は、アルミフレームおよび酸化薬剤耐性の樹脂で構成されていること。</p> <p>1.5 操作タッチパネルを有していること。</p> <p>1.6 装置には 25φmm の塩化ビニル製、またはそれと同等の配管を接続でき、脱着が容易であること。</p> <p>1.7 接続配管は殺菌ガスの入出の2系統を有し、殺菌対象空間に接続して内部の循環殺菌を可能にすること。</p> <p>1.8 装置から既設設備・機器(パライト・測定器)の連動が行える仕様とすること。</p> <p>1.9 使用する過酸化水素水の濃度は 35%以下であること。</p> <p>1.10 殺菌時の過酸化水素ガスの気相中の濃度は 150ppm 以下とし、100±50ppm の範囲にあること。</p> <p>1.11 タッチパネルには工程状況や各部の起動パラメータ・時間(開始・終了・残時間)の情報が表示されること。</p> <p>1.12 殺菌時間は 4 時間以内とすること。</p> <p>1.13 装置は取手等を有し、持ち運びが容易であること。</p> <p>1.14 殺菌対象室の規模は最大 25 立米程度とする室内とする。</p> <p>1.15 殺菌のプログラム選択が可能で、複数室(最大6つ)の切り換えが可能であること。</p> <p>1.16 装置 OJT として、取扱説明を含む教育訓練を実地作業者向けに実施すること。</p> <p>1.17 殺菌パラメータの推移は殺菌対象室外にて可視であり、記録がデータで残せるようにすること。</p> <p>1.18 既設の測定基盤にも対応する専用濃度計センサを2式提供すること。</p> <p>1.19 濃度計センサは単体で取り外しが可能であり、校正済みであること。</p>
2. 搬入, 据付, 調整等	2.1 搬入, 据付, 調整等については本研究所及び広島大学の業務に支障のないように十分配慮し、現地実測にて寸法等を再確認後、本研究所

	<p>の担当職員の指示により行うこと。また、建物や設備等に損傷を与えないよう十分な注意を払うよう努め、必要があれば納入経路に養生等を施すこと。万一、既設建物等に破損を与えた場合は、落札者の責任において原状復旧すること。</p> <p>2.2 調整、動作性能確認、取扱説明を行った上で引き渡し及び検収とすること。</p>
3. 設置場所	本調達物品は指定の場所に据え付けること。設置場所は職員の指示に従うこと。
4. 保守体制	納入検査確認後1年間は、通常の使用により故障又は破損した場合の無償修理に応じること。また、本調達物品の修理、部品供給、その他メンテナンスに対しては速やかに対処できること。ただし保証要件はメーカー提出の保証内容に従うこととする。
5. 障害支援体制	障害発生時において、障害発生通知後、24 時間以内(平日)に電話等により障害への対応が可能であり、さらに 72 時間以内(平日)に専門技術者が本学に派遣され、障害復旧に着手できる体制を有すること。
6. 教育講習	導入時に、指定した職員に対し装置の使用に関する教育・訓練を、本研究所が指定する日時、場所で行うこと。装置の取り扱い説明及び操作に必要な教育講習を行うこと。
7. 提出書類	<p>7.1 取扱説明書 1 部(納入時)</p> <p>7.2 保証書 1 部(納入時)</p> <p>7.3 操作マニュアル 簡易日本語版 1 部(納入時)</p>
8. その他	<p>8.1 本仕様書において不明点および未記載事項については本研究所の担当職員と協議の上、その指示に従うこと。また、事前の現地確認が必要な場合は、担当職員に連絡し、日時の指示を受けて実施すること。</p> <p>8.2 納入する物品は新品、未使用であること。</p>